

地域留学推進のための高校魅力化

むかわ学など充実目指す

鷓川高 3年度受入へ取組開始

【室蘭発】鷓川高校(三)校内で高校魅力化コンソーシアム設立総会・第1回運営委員会を開いた。



村素道校長)は6月下旬、シアン設立総会・第1回運営委員会を開いた。教職員をはじめ、むかわ町の竹中善之町長、北海道大学総合博物館の小林快次教授ら約50人が出席。高校魅力化支援事業の採択校として、今

後の事業計画などを確認した。「むかわ学」などの充実や、各企業と連携した約2ヵ月間のインターンシップなどを推進していく。同校は、内閣府による高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業の採択校として、令和3年度に地域留學生の受け入れ開始を目指し、取組を進めている。

三村校長は、コンソーシアムの形成に当たり、育成したい生徒像として「グローバル化する社会の一員としての基礎的な資質・能力を身に付け、社会地域に貢献できる生徒」と説明。加えて「自己の特性や能力を最大限に伸張させ、主体

的にたくましく生き抜く能力を身に付けてほしい」と話した。議事では、今後の事業計画について確認。教育システムの構築として、地域の自然や歴史などを学び地域

創成のための基礎的な知識や技能を身に付けることを目的とした「むかわ学」や、生徒の特性や能力に応じてテーマを設定し、グループで行うチャレンジャータイムの充実を図ること

した。構成団体と協力した事業の取組として、1回当たり2ヵ月程度のインターンシップ期間を設けるデュアルシステムなどを推進していくことを申し合わせた。

三村校長は、地域に貢献できる生徒の育成を呼びかけた